

《人物の関係から考えよう》

○小説に登場する人物は何らかの役割を持っています。
登場人物を整理して関係図を作り、登場人物の役割や作者が伝えたいことを考えましょう。

(1) 「故郷」の登場人物は九人です。確認しましょう。

(2) 登場人物を整理して関係図を作りましょう。

作り方・・・人物の関係がわかる言葉や線などを書き加えます。

波平	フネ	例	
ワカメ	カツオ	サザエ	マスオ
タラ			

人物の関係図を作って気づいたことや考えたことをジグソー班で伝えましょう。

《「月」の描写から考えよう。》

○小説を読むと、情景描写が人物の心情やその後の展開を暗示していることがあります。「故郷」には金色の丸い月が出る場面が二回あります。二つの場面を比較してみましょう。

(1) 一回目に金色の丸い月が出てくるのはルントウとの思い出の場面です。最後の場面の描き方と比べてみましょう。(描かれているもの・色・視線の動きなど)

(2) そして、最後の場面になぜ金色の丸い月が描かれているのか考えましょう。

思い出の場面

最後の場面

比べて気づいたことや考えたことをジグソー班で伝えましょう。

《ルントウが望むものと私が望むものから考えよう。》

○ 「彼（ルントウ）の望むものはすぐ手に入り、私の望むものは手に入りにくい」（p121）について考えましょう。

（1）ルントウが欲しいと言って選び出したものは何でしたか。また、それはどんなものだといえますか。

（2）「私」が望むものは何ですか。また、それはなぜ手に入りにくいのですか。

ルントウが望むもの

私が望むもの

比べて気づいたことや考えたことをジグソー班で伝えましょう。

